

絆きずな 22号

平成29年2月9日

発行責任者：吉竹一泰

文責：黒木茂夫

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

本音で話すばかりではなく (大阪府 中学生14歳)

なんでも本音で話せるのが友達だと思っていた。しかし、本音ばかりでもうまくいかないこともある。私は気をつかいあえる友達もいると思う。「親しき仲にも礼儀あり」。気をつかうから本当の友達ではないってことではないと思う。友達というのはずっと仲がいいわけではなく、たまにはすれ違ったりすると思う。しかしまた仲直りをして仲良くなるのが友達なのだ。

私が考える本当の友達とは、お互い励まし合い、助け合い、時には注意をし、気をつかい、楽しいことも悲しいことも共有し、時には本音でぶつかる人だと思っている。

でも、友達みんながこういう人でなくてもいいとも思う。色々な性格の人がいるからこそ、毎日楽しく私は過ごせている。

「朝日新聞 朝日川柳」より

1年生

- ☆本音ばかりでもうまくいかないことがあるとは、その通りだと思います。中学生の人が言っていたように、「気をつかうから本当のともだちではないってことはない。」を聞いて、そういうことかと思いました。周りには色々な性格の人がいる。だから毎日が楽しい。まさにその通りだと思います。
- ☆友達と話すときに、本音だけじゃなくいろいろな言葉も言うということを学びました。ケンカをしてすれ違いするけど、また仲直り仲の良い友だちにもどるということを知って、とてもよかったです。いろいろな性格の人がいるからこそ毎日が楽しい。ぼくもそう思っています。もっと人と仲良くなっていきたいです。人とのつながりを増やしていきたいです。
- ☆このひとは、友達にどうしようか一生懸命考えているからこういうことを考えられるのだと思いました。この人は、友達のことをしっかりと考えていて、すごい人だと思いました。
- ☆私は気をつかいあう友達は友達でないと思っていたけど、これを読んで気をつかいあう友達も大事だと思いました。私も本当の友達になれるように協力して生活していきたいです。
- ☆この文章を読んで、私は確かにそうだなと共感しました。私にもたくさんの友達がいます。一人一人の性格が違うから、気をつかう人がいたり本音などが言える人とさまざまです。友達は本当に大切な人だし、かけがえのない人なので、自分が悪いと思ったらちゃんとあやまろうと思います。友達とい

ると、いろいろな意見などが出てきて楽しいし、いいなと思います。でも、言葉づかいに気をつけて楽しくしていきたいです。

2年生

- ☆私たちもいろいろな性格の人がいるからこそ、この2年生のクラスが成り立っているのかなと思いました。本音を言って理解してもらうことも大切だと思うけど、それだけが友達じゃないと私も思います。
- ☆一人一人違っているからすれ違うときもあるし、仲の良いときもあります。すれ違っているときに本当の友達かが分かると思いました。楽しいことも悲しいことも共有できる友達づくりが大切だと思います。
- ☆私も本音ばかり言っていたら、相手を傷つけてしまうことがあると思います。だから、相手が傷つかないように気をつかうのはとても大事だと思います。気をつかった方が友達ともずっと仲良くいられると思います。本音で話すこともとても大事だと思います。だから、両方を使いながら、私も会話をしたいです。
- ☆自分の本音ばかり言ってしまうと相手がいやな気持ちになったりするので、本音で話すときと気をつけて話すときの区別が自分にも必要だと感じました。本音で言うだけではなく、励ましあうなども大切なことだと改めて感じました。
- ☆本音で話せる人がいても、その時の気持ちによって言っていることと言っていないことに分けられると思います。相手の気持ちを考えることができると、もっと仲がよくなると思います。

3年生

- ☆この考え方は私と似ているので共感しました。様々な面において卒業と別れという言葉がつかまとう今、9年間変わらず私の周りにいてくれた友達であり仲間であるみんなとの過去がよみがえります。みんなとの生活のなかで、やはり互いの良さを尊重しあえるのが友であり仲間であると感じたのです。尊重し、互いの違いを認めとり入れることで、私たちは心のひろい人になれたのではないのでしょうか。
- ☆私も、なんでも本音で話し合うことができるのが本当の友達だと思っていました。しかし実際は、「もしこんなことを言ってしまったら、すれ違ってしまいかもしれない。」という思いがあります。ここにも書いてあるように、なんでも本音で言うのではなく、気をつけて言うことも大切だと思います。そうすることで自分の気持ちが相手に伝わって、お互いの仲を深めることにも繋がるのではないかと思います。
- ☆友達だからこそ本音でばかりをぶつけるのではなく、お互い考えて話していかなければいけないと思いました。お互いの気持ちをお互いが考えることによって、楽しいことも悲しいことも共有でき、時には本音でぶつかれると思いました。
- ☆私は一回もけんかせず、すれ違うこともなく、なんでも気が合い、毎日一緒に楽しく過ごせるような完璧な友達なんて絶対にいないと思います。むしろ、そんな友達よりも、時にはぶつかり合い、注意し合えるような友達がいいです。お互いにぶつかり合うことも大切なことだと思います。
- ☆私の周りにも、色々な性格の友達があります。お互い勉強を教え合ったり、好きな音楽について話したりします。すれ違うこともあるけど、それぞれの個性が違うからこそ、毎日楽しくて笑顔でいられるんだと思います。

日々の生活の中で、ともすれば見過ごしがちな様々な出来事を「人権」という視点で見つめ直してみると、改めて気づくことや、心温まるストーリーなど、何か違ったものが見えてくるのではないのでしょうか。

